



株式会社芝浦電子 2024年度第2四半期 決算説明

2024年 12月 3日

01

2024年度第2四半期 決算説明

2024年度第2四半期 業績

売上高	16,775百万円	前年同期比	3.7%増
営業利益	2,747百万円	前年同期比	6.7%増
経常利益	2,653百万円	前年同期比	2.7%減
親会社株主に帰属する中間純利益	1,759百万円	前年同期比	5.9%減
売上高営業利益率	16.4%	前年同期実績	15.9%
1株当たり当期純利益	116.17円	前年同期実績	122.79円

売上高 前年同期比 3.7%増

- 電動化推進により、EV/HV用モーター向けセンサが好調
- 調理家電用は増加に転じたものの、エアコン用や住宅設備用、産業機器用が減少

営業利益 前年同期比 6.7%増

- 人件費、減価償却費などの経費が増加した一方、売上高の増加、電気代、荷造運賃等の経費削減により営業利益額が増加

経常利益 前年同期比 2.7%減

- 第2四半期の円高による為替差損があり、73百万円減少

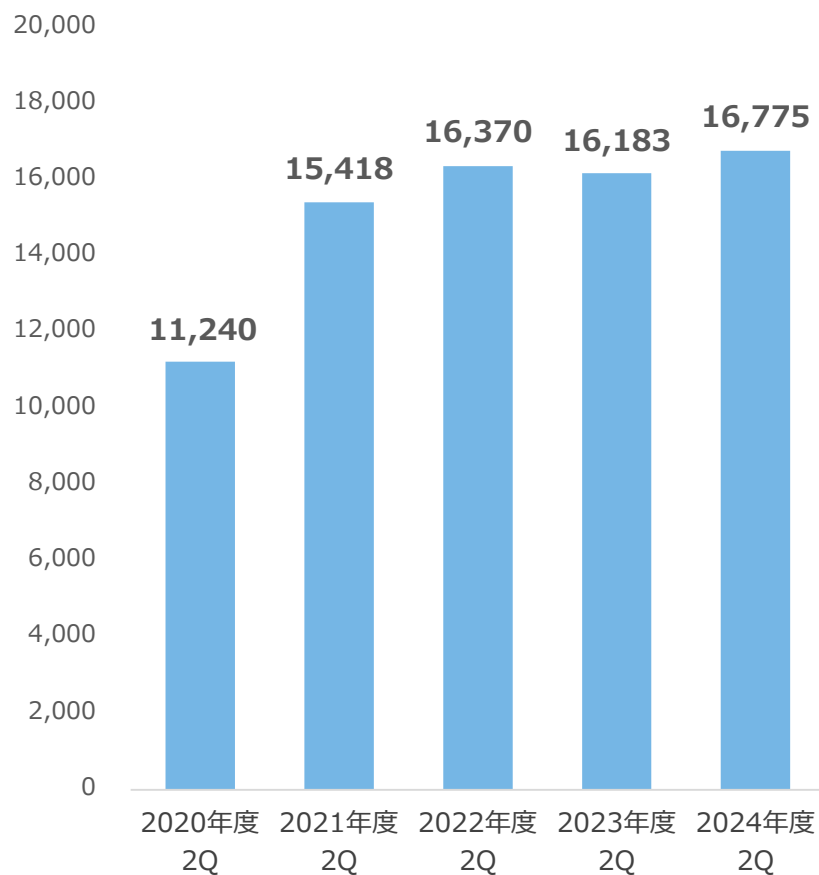
親会社株主に帰属する中間純利益 前年同期比 5.9%減

- 経常利益の減益などで、前年同期対比で減少

業績推移(前年同期比較)

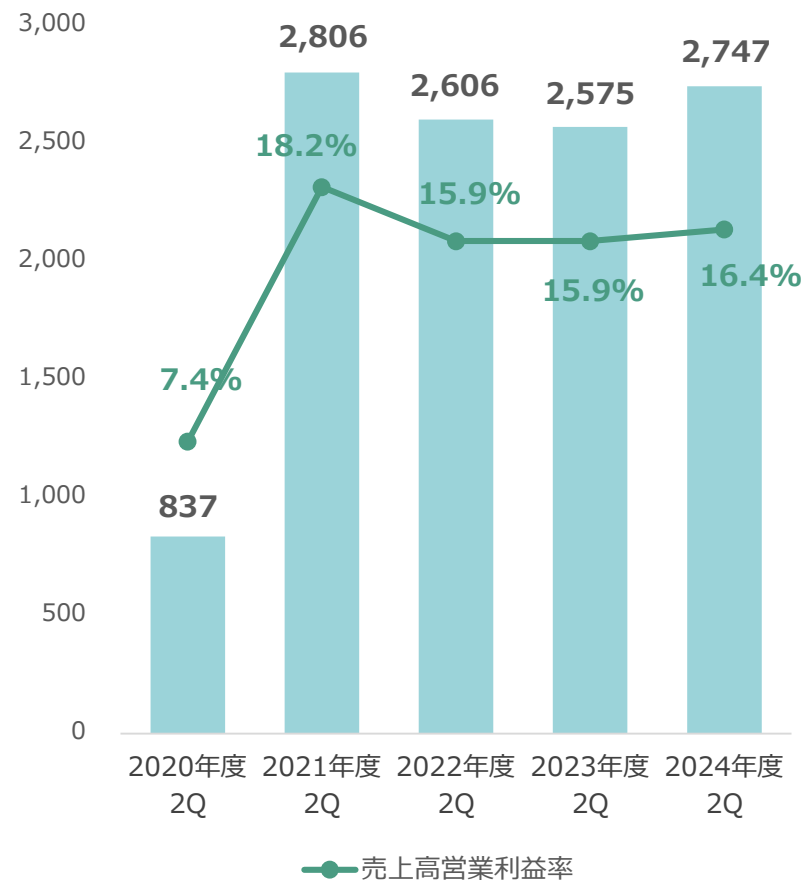
(単位：百万円)

売上高



(単位：百万円)

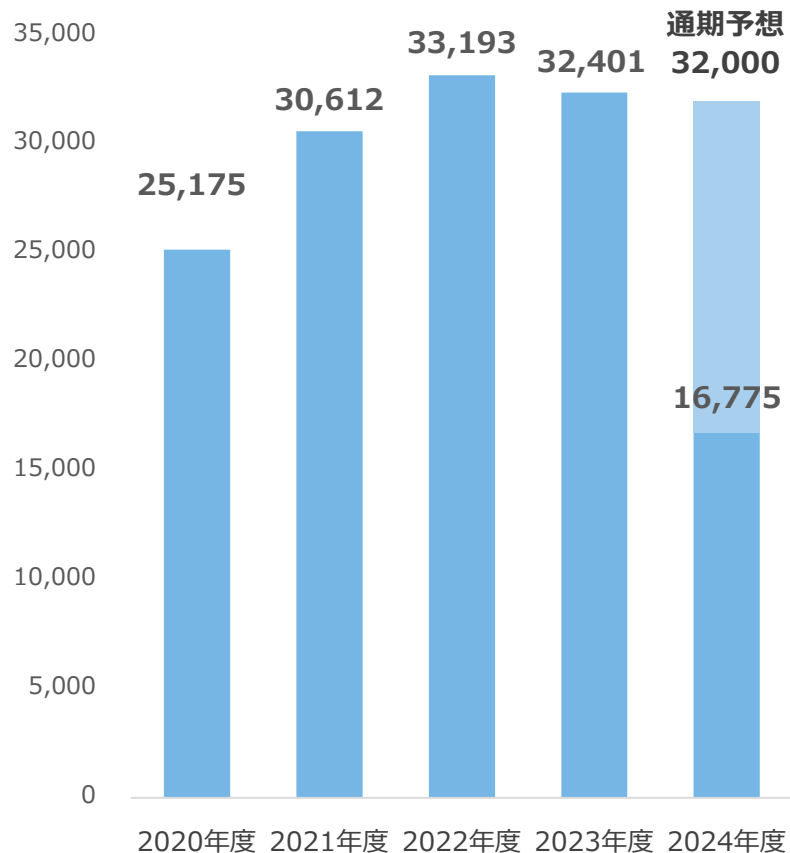
営業利益額 売上高営業利益率



業績推移(通期比較)

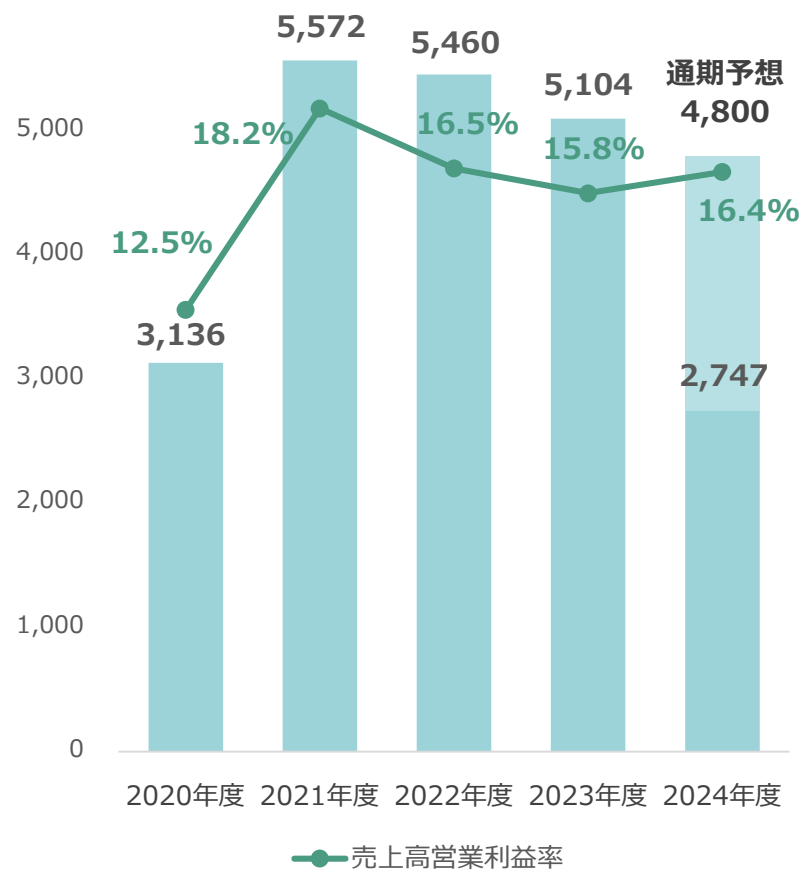
(単位：百万円)

売上高



営業利益額 売上高営業利益率

(単位：百万円)

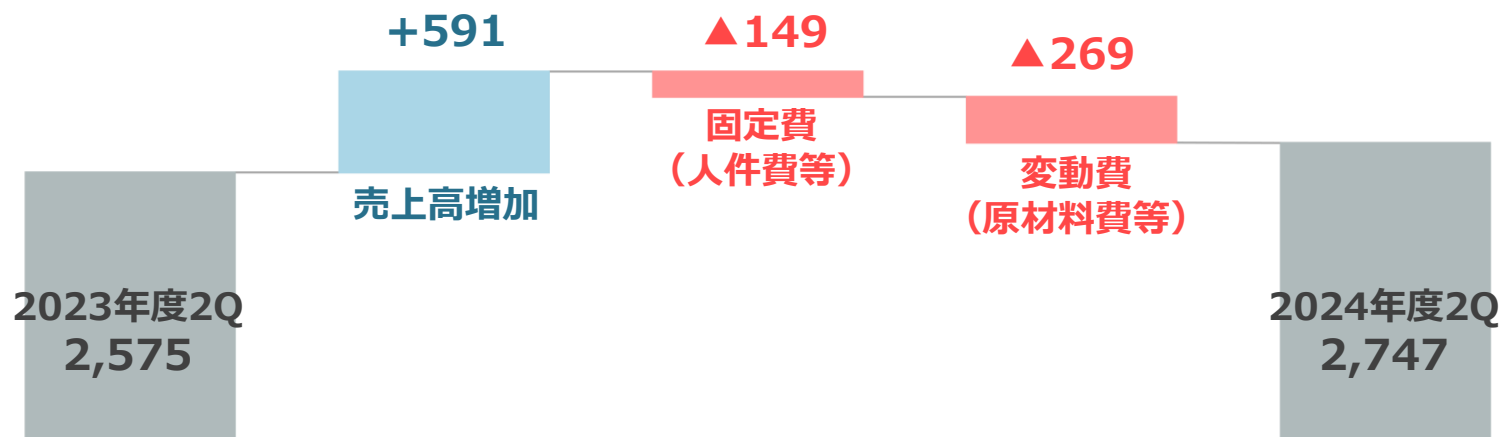


営業利益額 増減分析（前年同期比較）

営業利益額 増減分析

前年同期比 営業利益額 +172百万円

（単位：百万円）



- 売上高
 - + 自動車用（電動車）や調理家電用など
 - エアコン用、住宅設備用、産業機器用など

- 固定費
 - + 人件費、減価償却費

- 変動費
 - + 手数料、旅費交通費など
 - 電気代、荷造運賃など

分野別売上高（前年同期比較）

- その他
- インダストリアル
- オートモーティブ
- ホームアプライアンス

（単位：百万円）

ホームアプライアンス +17百万円

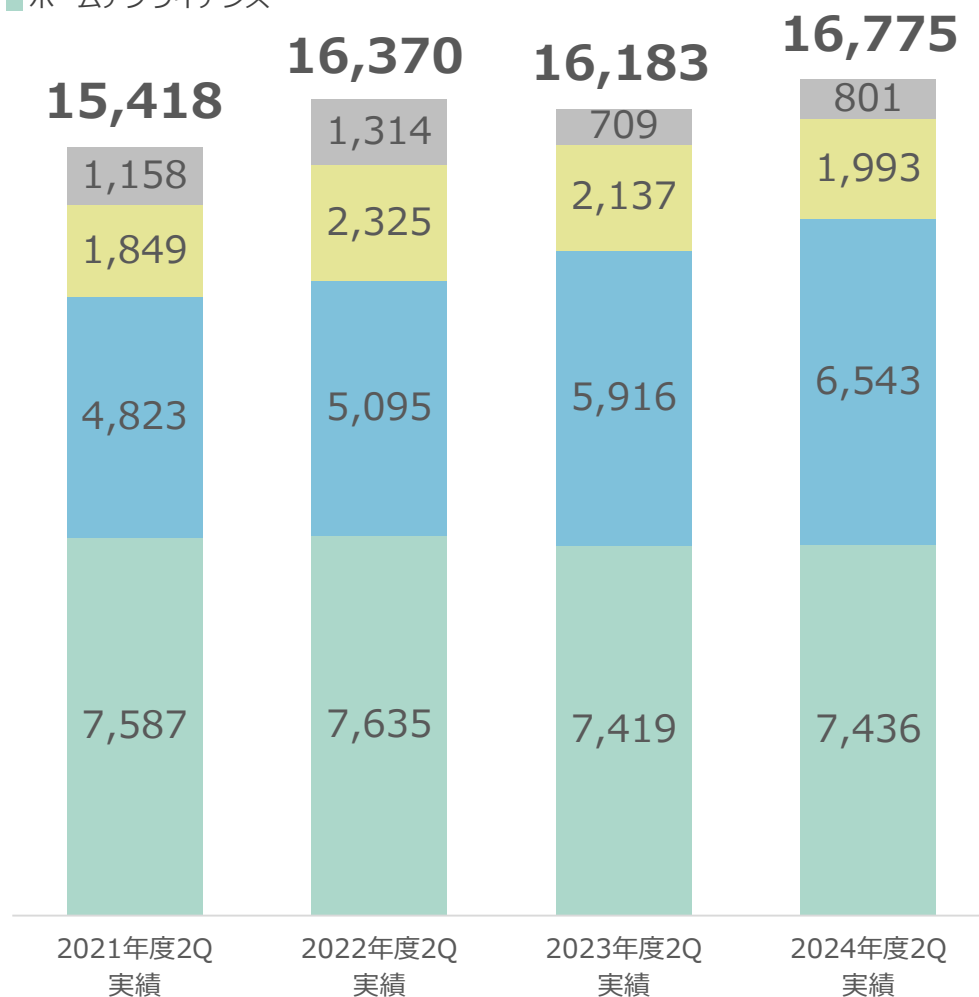
- ・ 調理家電用が増加
- ・ エアコン用は、前年同期比、前四半期比ともに減少。世界的な需要弱含みの影響
- ・ 住宅設備用は前年同期比で減少

オートモーティブ +626百万円

- ・ モーター用は引き続き好調
- ・ バッテリー用は増加
- ・ 高温用素子は減少

インダストリアル ▲144百万円

- ・ OA機器用は引き続き好調
- ・ 産業用は風力発電システム用の素子が大幅に減少した他、ロボット用や工作機械用も引き続き減少し、全体的に低調



用途別売上概況 <ホームアプライアンス>

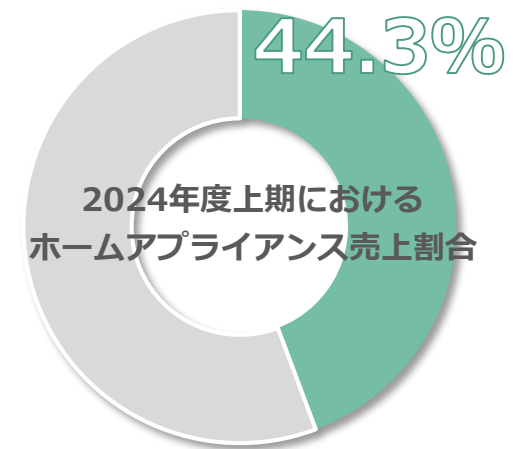


2024年度上期の概況

- コロナ特需からの反動減で低調だった電子レンジ用やコーヒーメーカー用などの調理家電用が回復し、増加が続く
- エアコン用は、前年同期比、前四半期比ともに減少。中国と欧州を中心に需要低迷が続く
- 給湯器用は前年同期比では減少が続く

2024年度下期以降の予測

- 家電用は今後も増加を見込む
- エアコン用は2024年度中は前年対比減少が続く見込み



用途別売上概況 <オートモーティブ>

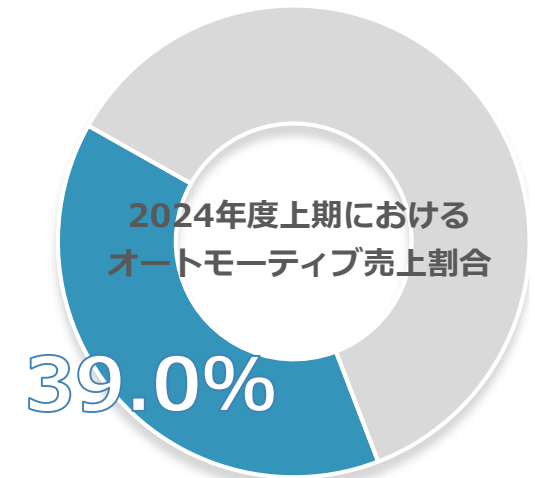


2024年度上期の概況

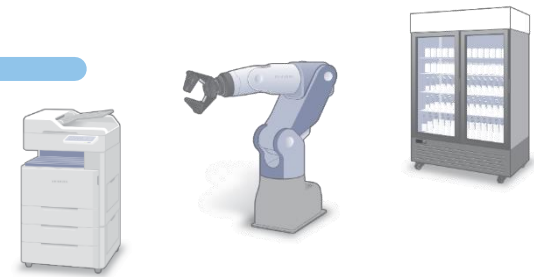
- 中国でのEV車の推進、日本やアメリカでのHV車の推進などにより、EV/HVモーター用が増加
- 高温用素子は減少
- バッテリー用、EGR用、トランスミッション用など多くの用途で前年対比増加

2024年度下期以降の予測

- 海外のEVメーカーへの拡販を継続
2024年度下期以降増加の見込み
- 日系メーカーは引き続きHVが好調



用途別売上概況 <インダストリアル>

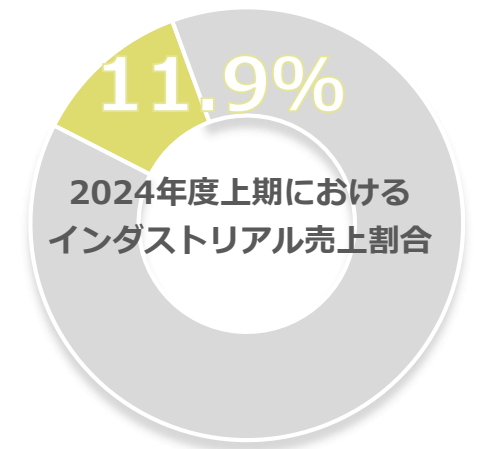


2024年度上期の概況

- OA機器用は今期は好調に推移し、前年同期対比で30%の増加
- 産業機器用は風力発電システム用素子や産業ロボット用が大幅に減少し、全体でも前年同期対比35%の減少

2024年度下期以降の予測

- OA機器はペーパーレス化などの潮流により長期的には減少傾向
- 産業ロボット用や再生可能エネルギー関係は世界的な需要の戻りに期待



損益計算書（要約）

単位：百万円	2023年度2Q	2024年度2Q	増減額	増減率
売上高	16,183	16,775	+592	3.7%
売上原価	11,719	11,943	+224	1.9%
売上総利益	4,464	4,832	+368	8.2%
販売管理費	1,889	2,084	+195	10.3%
営業利益	2,575	2,747	+172	6.7%
営業外収益	157	41	▲116	▲73.9%
営業外費用	6	136	+130	2,166.7%
経常利益	2,726	2,653	▲73	▲2.7%
特別利益	64	0	▲64	▲100.0%
特別損失	5	14	+9	180.0%
法人税等	914	876	▲38	▲4.2%
親会社株主に帰属する 中間純利益	1,869	1,759	▲110	▲5.9%

※ 2023年度 特別利益 64百万円について

- 2021年度第2四半期に発生した香港子会社での送金詐欺事件の被害のうち、2023年第1四半期に63百万円を回収、特別利益として計上しております。なお、2024年3月回収分の22百万円については、海外グループ会社の決算期ずれ解消に伴う処理のため利益剰余金に含まれ、損益計算書上はゼロとなっております。

貸借対照表（要約）

単位：百万円

2024年3月末

2023年9月末

増減額

資産合計	43,574	42,509	▲1,065
現金及び預金	13,542	12,604	▲937
売上債権	8,049	8,169	+120
棚卸資産	9,053	8,495	▲558
固定資産	11,529	12,278	+749
負債合計	8,411	7,582	▲829
流動負債	7,776	7,196	▲580
固定負債	634	385	▲249
純資産合計	35,162	34,926	▲235
自己資本	35,115	34,877	▲238
為替換算調整勘定	2,735	3,293	+558
自己資本比率	80.6%	82.0%	-

【資産】

- 現金及び預金が937百万円、棚卸資産が558百万円減少
- 国内外グループ会社の製造設備導入及び新社屋建設等により固定資産が749百万円増加

【負債・純資産】

- 負債は、買掛金や長期借入金の減少により829百万円減少
- 純資産は、配当金の支払いや自己株式取得により自己株式が592百万円増加し、純資産の合計は235百万円減少
- 自己資本比率は前連結会計年度比1.4ポイント増加

キャッシュ・フロー（CF）

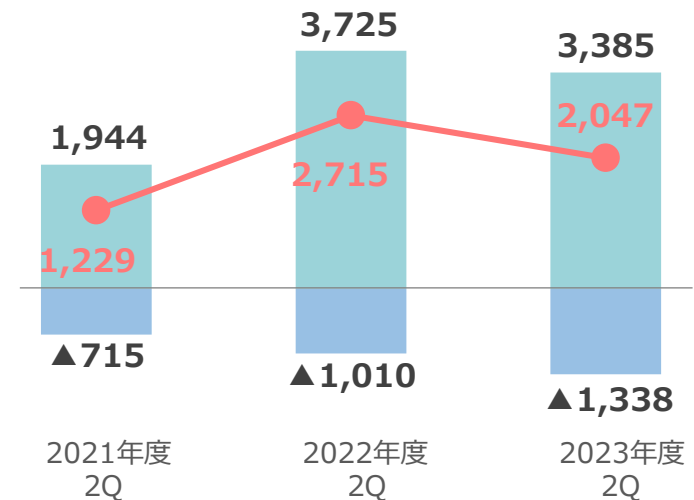
単位：百万円

	2022年度 2Q	2023年度 2Q	2024年度 2Q
営業活動によるCF	1,944	3,725	3,385
税金等調整前当期純利益	2,780	2,785	2,638
減価償却費	726	737	816
売上債権の増減額	▲480	▲485	▲165
棚卸資産の増減額	▲180	332	735
仕入債務の増減額	▲317	582	▲298
法人税等の支払額	▲1,258	▲1,095	▲831
その他	673	869	490
投資活動によるCF	▲715	▲1,010	▲1,338
有形固定資産取得	▲692	▲948	▲1,297
その他	▲23	▲62	▲41
フリーCF	1,229	2,715	2,047

単位：百万円

	2022年度 2Q	2023年度 2Q	2024年度 2Q
財務活動によるCF	▲1,834	▲2,085	▲3,248
借入金返済	▲668	▲550	▲300
自己株式の取得	▲0	▲0	▲637
配当金支払	▲1,163	▲1,530	▲2,306
その他	▲2	▲4	▲4

営業・投資・フリー キャッシュフロー



◆ 営業活動によるCF 2024年度-2023年度 ▲340百万円

➢ CF増加要因

- ・減価償却費増加 +79
- ・棚卸資産の増加 +403
- ・売上債権 +320
- ・法人税の減少 +264

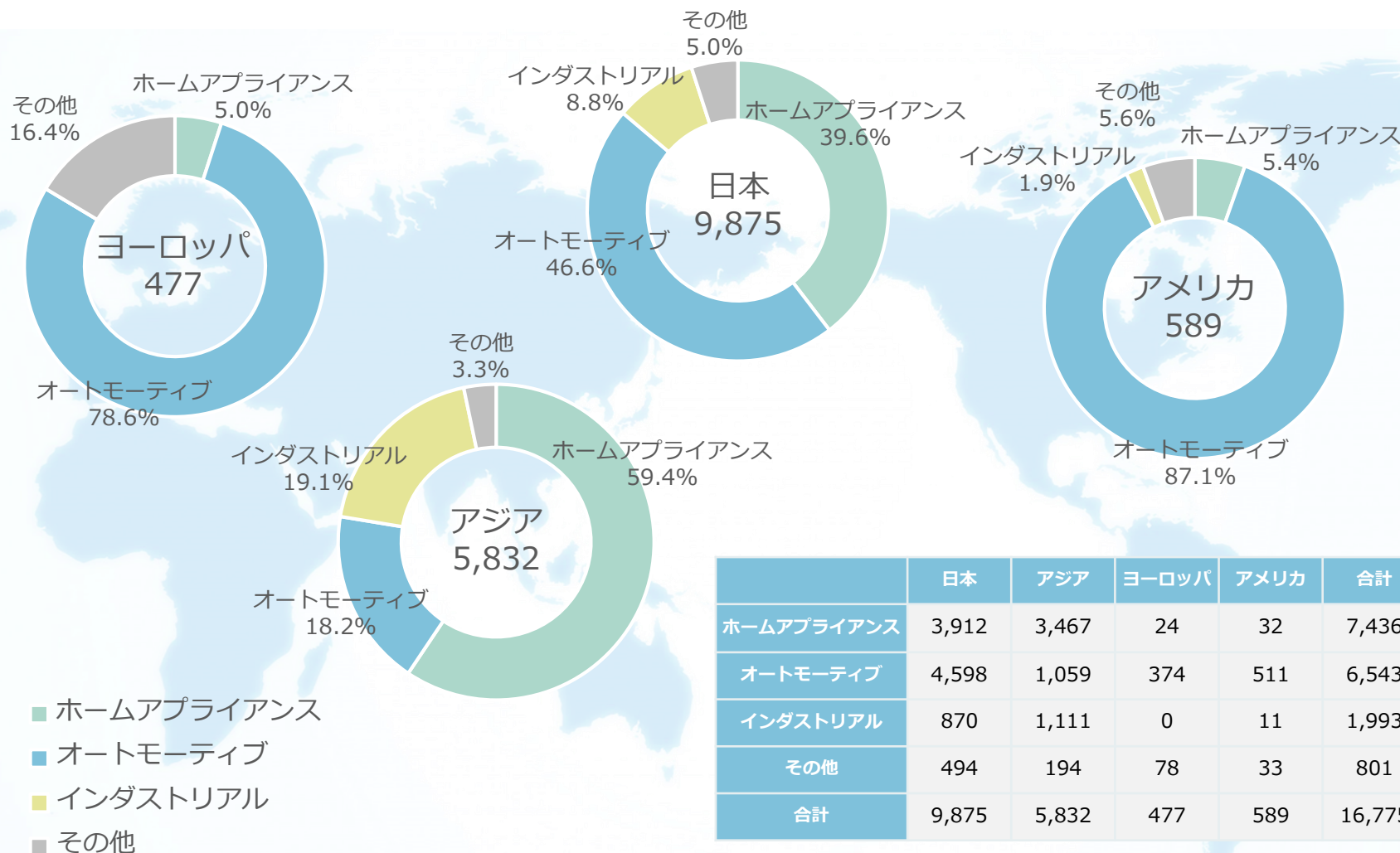
➢ CF減少要因

- ・当期利益の減少 ▲147
- ・仕入債務の減少 ▲880

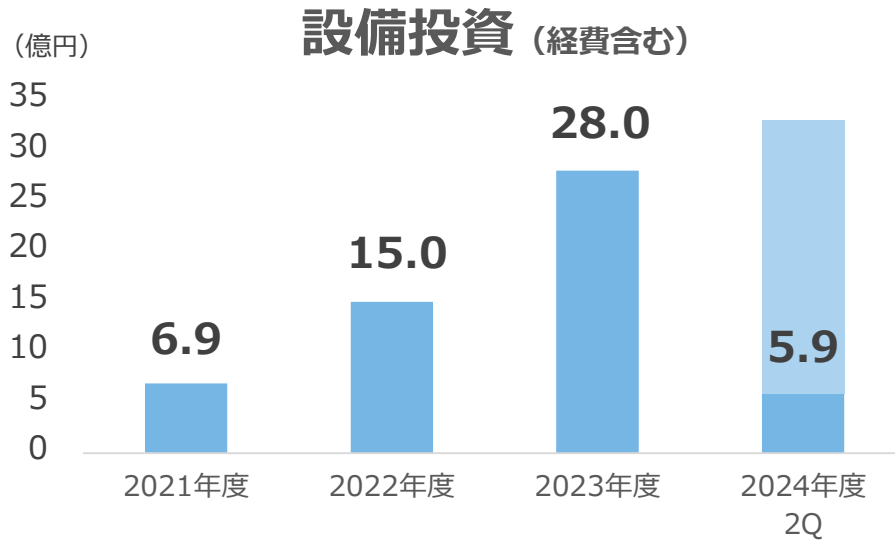
営業CF 投資CF FCF

地域別売上（販売拠点ベース）

（単位：百万円）

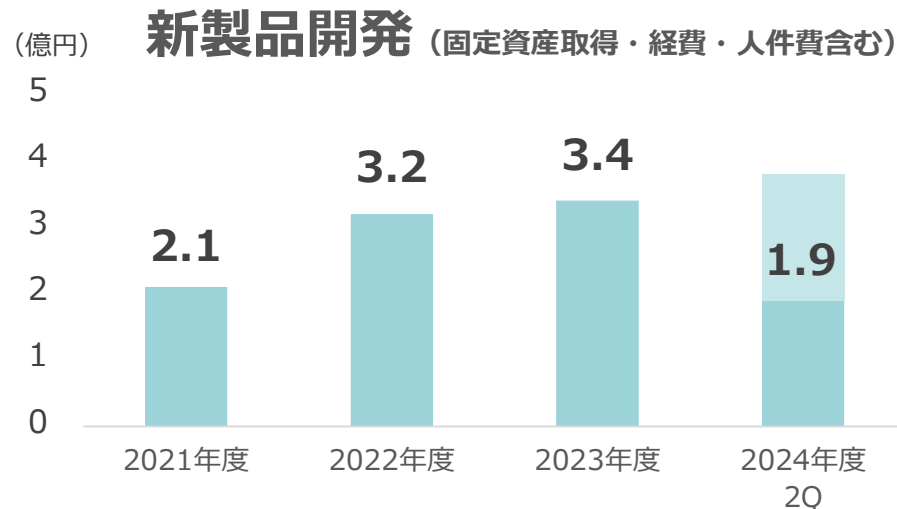


設備投資と新製品開発費用計画



設備投資 (固定資産取得)

- 生産能力強化、生産効率向上のため工場を拡張
- 製造設備の内製化を推進
- 本社新社屋建設費用



新製品開発費用

- 新分野・新製品開発

02

中期経営計画2024-2026 進捗状況

中期経営計画達成状況：財務目標

中期経営計画 財務目標

	2024年度計画	2025年度計画	2026年度計画
売上高	320億円	350億円	385億円
営業利益額	48億円	60億円	75億円
売上高営業利益率	15.0%	17.1%	19.5%
ROE	10.0%	11.5%	13.5%

2024年度実績・計画

	2024年度 第2四半期実績	2024年度計画	達成率
売上高	167億円	320億円	52.2%
営業利益額	27億円	48億円	56.3%
売上高営業利益率	16.4%	15.0%	-

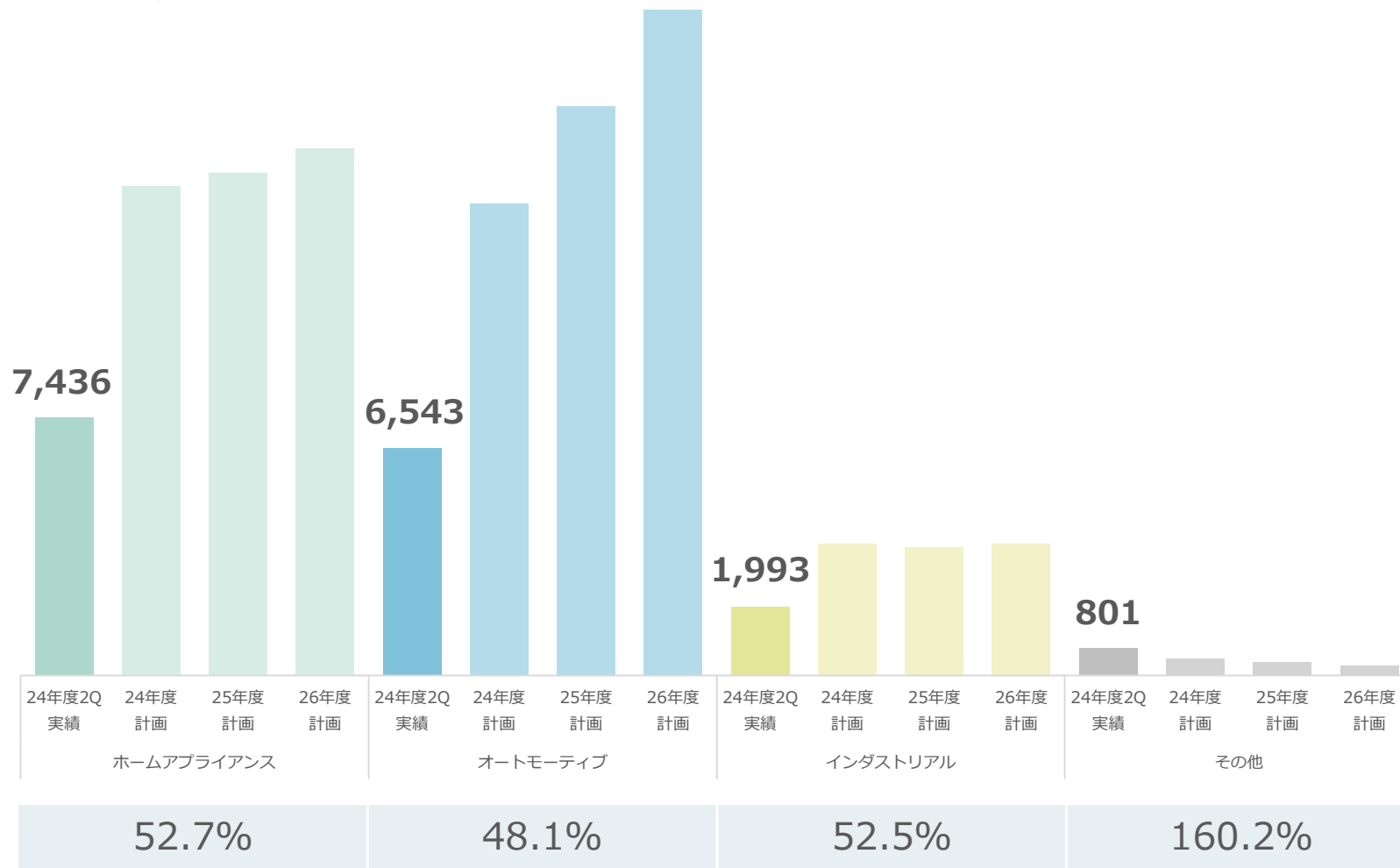
中期経営計画進捗状況：基本方針

● 2024年度の重点施策と進捗状況

基本方針	進捗状況
品質・ 生産性向上	2019年度→2024年度（上半期）生産効率26.0%アップ （1日当たり生産本数 福島芝浦電子 素子製造工程）
製品開発・ マーケティング	- 新事業、新製品、新市場など新たな企業価値創造のため 「新事業開発室」を設置（2024年11月） - 海外営業拠点人員増加による営業力強化
人材育成・ ガバナンス強化	- 人事制度一部見直し（2024年7月） - 働き方改革推進…フレックスタイム制導入（2024年7月） - 役員報酬に譲渡制限付株式報酬（RS）を導入（2024年7月）

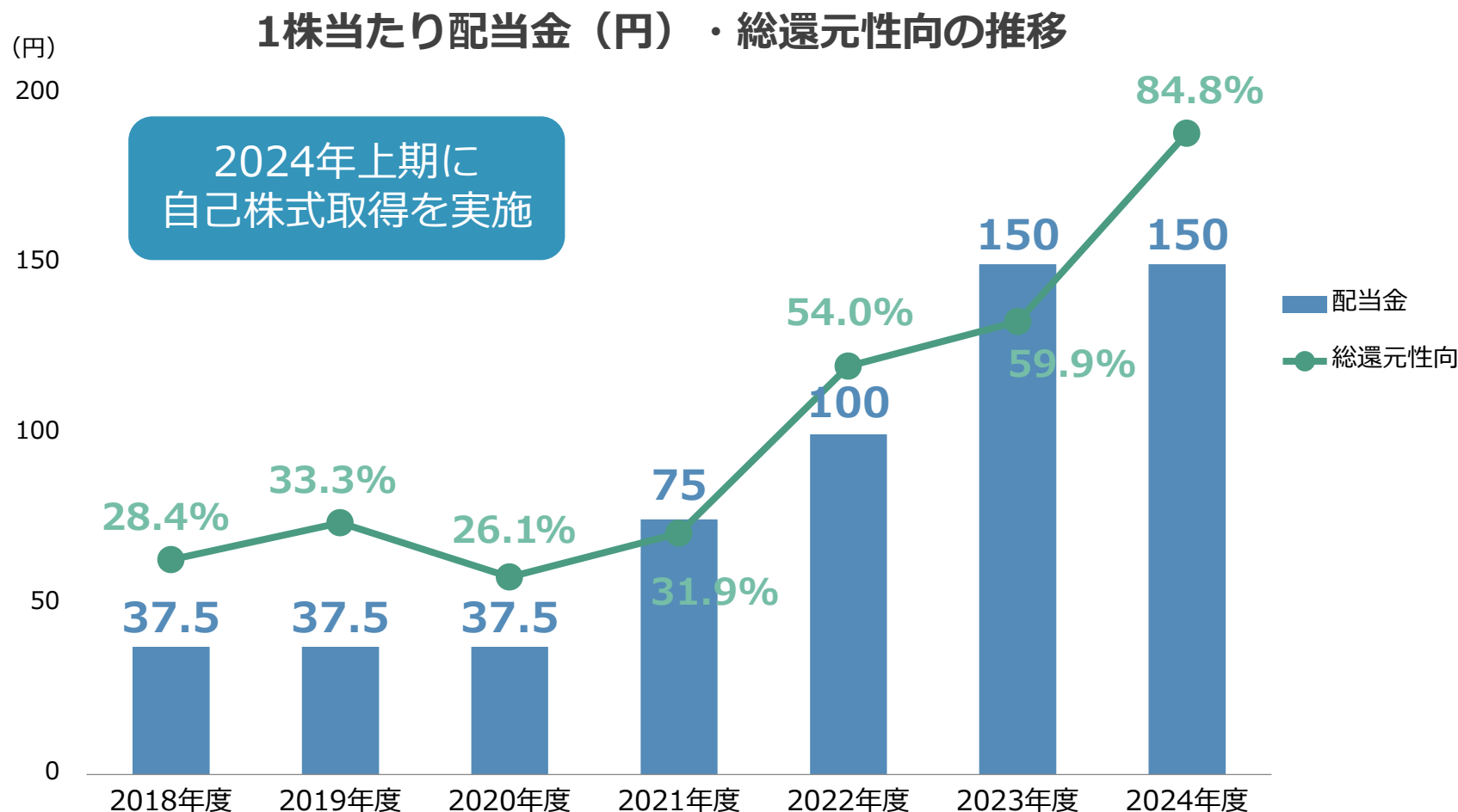
中期経営計画進捗状況：用途別売上高

(単位：百万円)



2024年度計画達成率

配当金・総還元性向推移



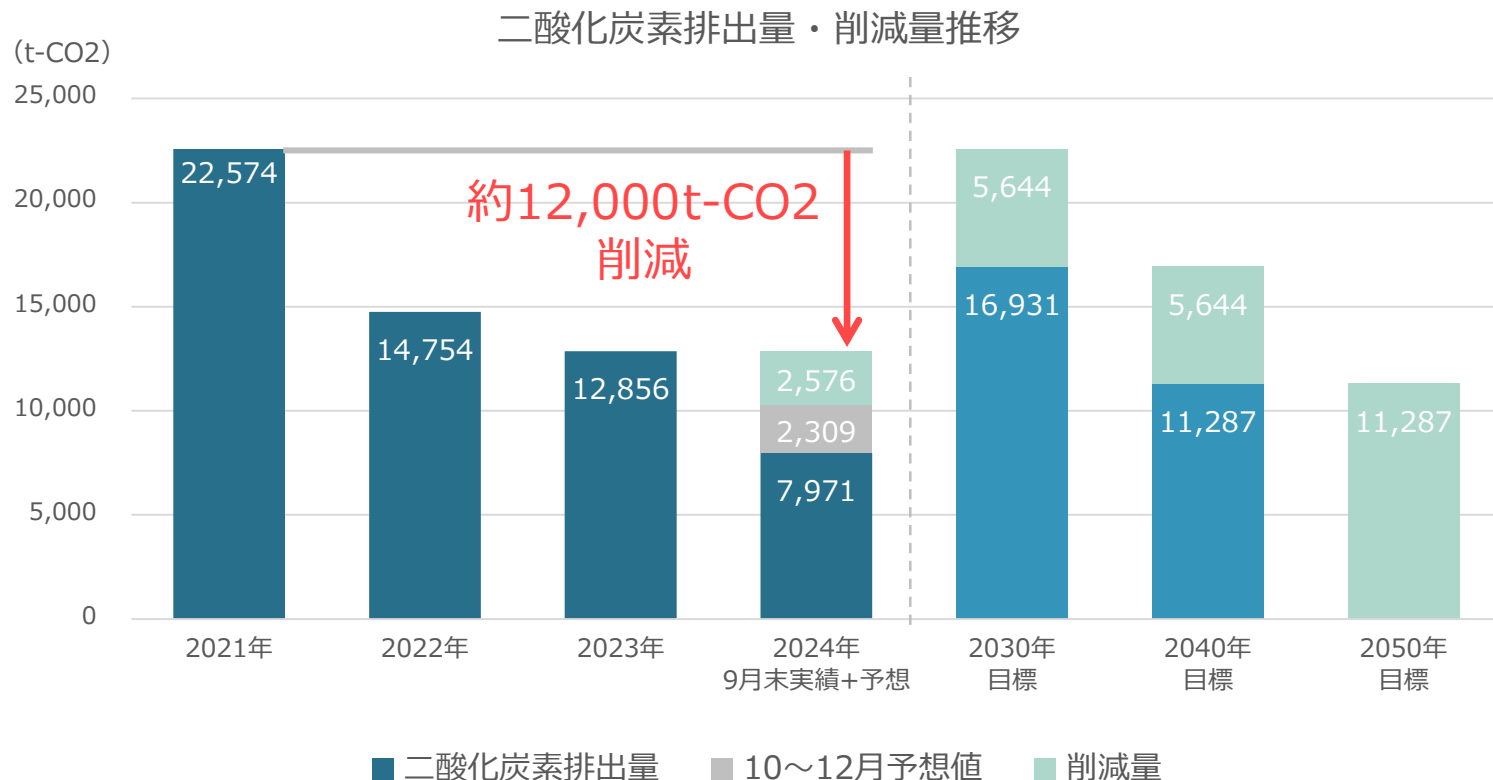
※ 2024年7月に1株を2株に分割。2023年度以前の配当額は、株式分割調整後の金額です。

二酸化炭素排出量削減（Scope1、Scope2の合計）

- 2050年にカーボンニュートラルとする目標に向けて、2024年は2021年の二酸化炭素排出量実績から12,000t-CO₂以上削減する見通しです。

＜削減に向けた取り組み＞

福島芝浦電子及び芝浦電子本社において、再生可能エネルギーを電源とした電力を導入
タイシバウラデンシにて太陽光パネルの設置工事中。順次稼働を開始



03

トピックス

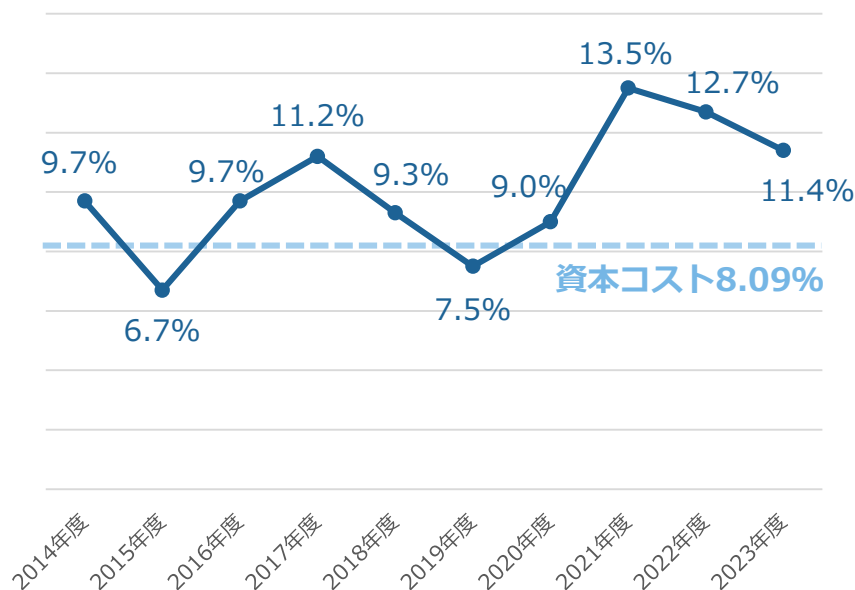
資本コスト (2023年度実績をもとに試算)

- 株主資本コスト〈資本資産評価モデルにて算出〉

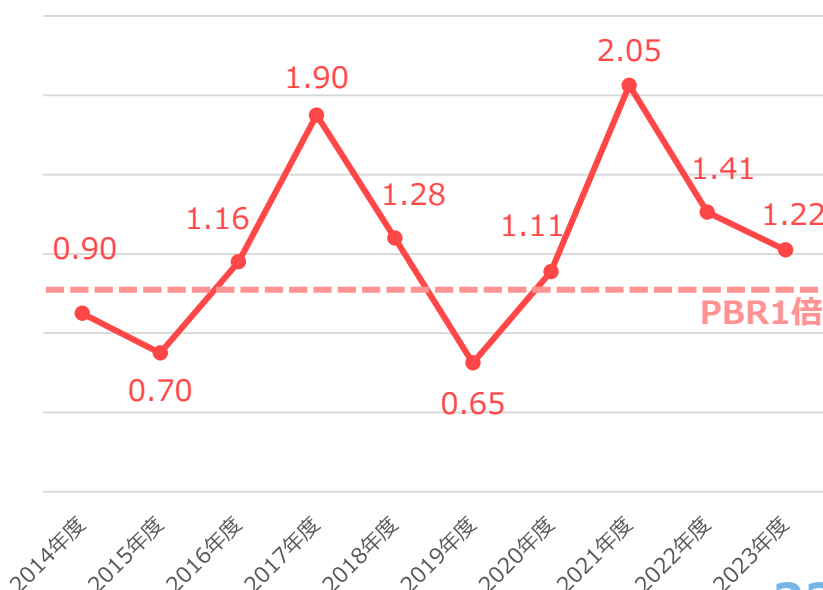
$$E(r) = r_f + \beta \times (r_M - r_f)$$

株主資本コスト	=	リスクフリーレート	+	ベータ	×	マーケットリスク・プレミアム
8.09% (24/3期)	=	0.83%	+	1.012%	×	7.17%

ROE (%)

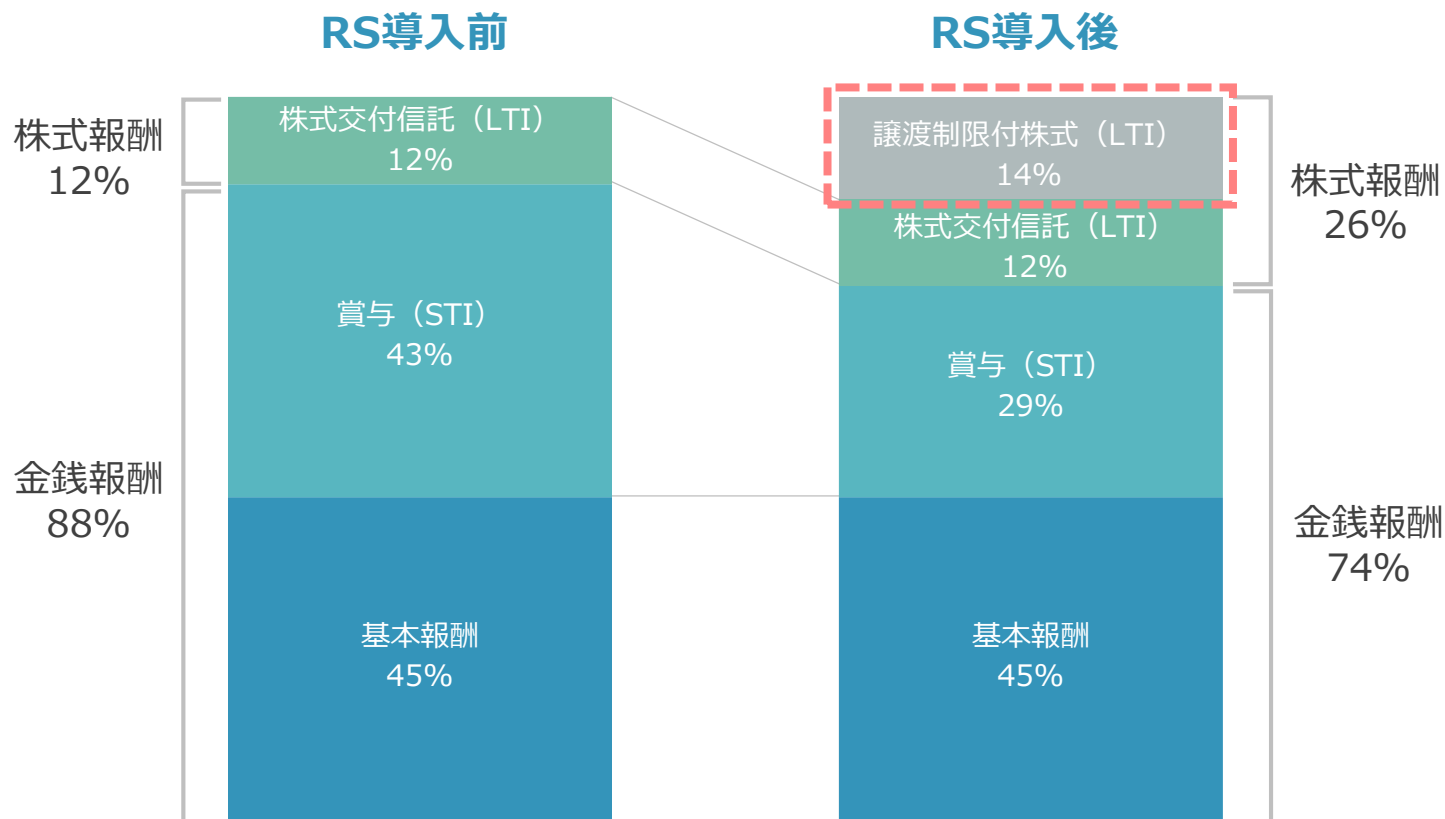


PBR (倍)



役員報酬 RS（譲渡制限付株式報酬）導入

- 役員の中長期的な業績向上に対するインセンティブを高めるため、2024年7月より、短期インセンティブである役員賞与の一部を、長期インセンティブであるRS（譲渡制限付株式報酬）に変更いたしました
- 株数算出の際は、**TSR**をKPIとしております



「新事業開発室」設置

- 当社グループの持続的な成長を実現するため、新事業、新製品、新市場など新たな価値を創造することを目的に、2024年11月に役員直下の組織「新事業開発室」を設置いたしました

新たな価値の創造

- ・ 新市場開拓
- ・ 新製品開発
- ・ 多角化
- ・ 先端技術導入
- ・ 業務提携、共同開発



成長基盤の整備

成長基盤の確立

さらなる成長



本社移転

● 芝浦電子本社 新社屋 着工

- ・ 移転時期 : 2026年1月（予定）
- ・ 移転場所 : 埼玉県さいたま市鈴谷二丁目（最寄り駅 JR埼京線 南与野駅）
- ・ 移転理由 : 事業の拡大に伴う本社機能の拡充、社員の働きやすさを意識した執務環境の整備、優秀な人材の確保を図るため



※ 新社屋イメージ図は、実際のものとは異なる場合があります。

将来の見通しに関する注意事項

- ◆ 本資料に掲載されている将来の見通しの記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因の過程を前提としています。
- ◆ 実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績に影響を与える要素には、経済情勢、原材料価格、製品の需給動向及び市況、為替レートなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません
- ◆ 本資料中の定量目標、参考値、投資額等は、あくまでビジョン、中期的戦略等を示すものであり業績予想ではありません。当社はこれらについて情報を更新する義務を負いません。
- ◆ 正式な業績予想は東京証券取引所規則に基づく決算短信での開示をご参照ください。

IRに関する連絡先

経営管理部：keieikanri@shibaura-e.co.jp

